

令和 7 年第 1 回定例会総体質問通告事項

	岡 村 隆 議 員 ( 公 明 党 )	質問方式：一問一答方式
3 月 6 日	<p>1 まずは「活力ある産業が育つまち」から「企業 立地促進事業」について</p> <p>(1) 「産業用地調査業務」の具体的な内容は</p> <p>(2) 「用地調査」に関連し、市民病院の移転先について今回、移転に関する予算計上を見送られたことでもあり、今一度、「用地調査」の観点から検討してはいかがか</p> <p>2 続いて、「活発な交流と賑わいのあるまち」から「市民と在留外国人との共生社会を目指して」について</p> <p>外国人が尾道市内において店舗等を経営されることも多くなってきた。開店前の近隣への挨拶もなかったりすると、地域の方々にとっては、言葉が通じない関係で声もかけられず、コミュニケーションがとれないまま不安な日々が続く</p> <p>(1) このような事例にあっては地域の方としては市役所のどこに相談に行けばよいか。また、どのような対応をとって頂けるか</p> <p>(2) 文化の違いから起こる外国人と地域の方との問題について、どのような事例を把握しているか。またどの部署がどのように対応したか</p> <p>(3) 町内会を維持していくのが困難な地域が出はじめている。待ちの姿勢ではなく、関係部署が連携をとりながら、どんどん地域に入って頂きたい。外国人対応であれば秘書広報課の方に地域の方と外国人との顔つなぎを行って頂くだけでも、随分とその後のコミュニケーションの取り方が楽になると思います。そういった営みをぜひ検討して頂きたい</p> <p>3 次に、「心豊かな人材を育むまち」について</p> <p>(1) 令和 2 年から「ストレスチェック」が実施されているが、具体的にはどのようなものか。またその効果はどのような形で検証できるか。実際にどのような効果があがっているか</p> <p>(2) 専門家によるカウンセリング制度はないのか</p> <p>(3) 「時間外勤務が 45 時間以下である教職員の割合」について、令和 8 年度の目標は 100%となっている。今後 2 年間で一気に 52.5 ポイントも改善して 100%を達成する目標となっているが、目標達成のために、考えておられる方策を伺う</p>	

3 月 6 日	<p>(4) 教育委員会は持ち帰り仕事についてどのようなスタンスをとっているか。また実際のところその有無、程度について把握は可能か。申告は必要か</p> <p>(5) 個人情報が含まれたデータなどが、外部に漏れるリスクが生じないためのルールはどうなっているか。教育委員会として統一のルールを定めていますか。それとも学校単位か</p> <p>(6) 今回の件をどのように受け止め、再発防止策として新たにどのような取り組みをされているのか</p> <p>4 続いて「心豊かな人材を育むまち」についてもう1つ、「学校再編後の児童、生徒間のコミュニケーションの促進」について</p> <p>(1) 学校の再編は、再編初期には学校の方から積極的に、児童、生徒同士の理解を深める機会を作ることが必要だと考えるが如何か。具体的にどのようなことを検討されているか</p> <p>(2) いじめに関連して、このたび議案として、議案52号、58号、61号が提出されているがそれぞれ議案の概要について伺う。昨年6月議会で採択した請願を受けてのものであり、その後の条例制定、改正の準備を進めて頂き、ご尽力いただいたことに感謝する</p> <p>5 続いて「人と地域が支え合うまち」から</p> <p>(1) 前提として、令和5年の12月議会におきまして、私がパートナーシップ宣誓制度の導入時期等につき一般質問した、その後の取り組みの状況はいかがか</p> <p>(2) パートナーシップ宣誓制度を、人口減少対策の観点から考えても、まだ同制度を導入していない本市は、「既に一步遅れをとっている」改めて制度導入の時期、内容等についてお尋ねする</p> <p>6 次は「市民生活を守る安全のまち」について</p> <p>(1) 学校の体育館は避難所となっているところが多く、その体育館へのエアコンの整備は一義的には学校の施設ということで教育委員会の所管ではあるが、市長部局においても同等の責任と危機感を持って、お互いに連携を密にとりながら、取り組んでいくべき課題だと思うがいかがか</p> <p>(2) また、ここ数年続く酷暑、またこの度のような寒波と、近年の気象の急激な変化に適応し、子どもたち、教職員の命、健康を守り抜くためにも、体育館へのエアコンの設置は「待ったなしに必要な状況」となっていると認識しているがいかがか</p>
------------------	--

3	<p>(3) 一つの学校の体育館にエアコンを設置する場合、平均的にどの程度の費用が必要になるか</p> <p>(4) この点、国の補助金等を活用するとした場合、二つの資金調達手段が考えられる。一つ目は「学校施設環境改善国庫補助金」二つ目は「緊急防災減災事業債」加えて2024年度補正予算で「空調設備整備臨時特例交付金」が新設された。これは設置費用の2分の1を国が支援するもので、対象期間は2033年度までとなっている。またランニングコストも、2025年度の地方交付税措置を通じて、支援が行われる予定。国をあげて取り組んでいる今この時に、これらの資金調達方法の組み合わせも検討しながら、学校体育館へのエアコン整備について、教育委員会と市長部局が緊密な連携をとりながら、今後順次計画的に進めて頂きたいが、いかがか</p> <p>(5) もう一点、同じような考え方で、学校トイレの洋式化の一層の推進をお願いしたいが、いかがか</p>
月	<p>7 「市民生活を守る安全のまち」についてもう一点、「立地適正化計画作成事業」について</p> <p>(1) これまでの2年間の取り組み状況を具体的に教えて頂きたい。また、特に地域ごとの防災力向上に向けて整理されたことがあればそれもお願いしたい</p> <p>(2) いよいよ来年度は計画の作成・公表・地域説明会・パブリックコメント・協議会等と具体的に大きく展開していくわけであるが、これらの内容とスケジュール感はどのようになっているか。また、特に地域説明会やパブリックコメントにおいては、市民の声はどのように反映されていくのか</p>
6	<p>(3) 今回公表される立地適正化計画は、当然のことながら実行に向けて「現実的」かつ「持続可能」であることが重要であるが、どのようなことを考慮していく必要がありますか</p> <p>(4) 尾道にはさまざまな地域の特性がある。今回の計画はその特性に応じた適切なものになっているか</p>
日	<p>8 最後に、「安心な暮らしのあるまち」から「福祉まるごと相談事業」について</p> <p>(1) 今年度から設置される「おのまる会議」とはどのようなものか</p> <p>(2) 今後の方針としてあがっている「権利擁護に関する支援体制の構築」の内容を教えてください</p>

